

鍼灸情報研究会広島 2011 活動報告



平成 23 年 11 月 13 日（日）に鍼灸情報研究会広島 2010 が開催されました。

このたびの講師の伊藤和憲准教授は鍼灸ジャーナルや医道の日本で高名で有り、参加者は 64 名とたいへん活気のある研究会になりました。とくに学生は 34 名と多く、伊藤和憲先生のトリガーポイント治療に対する関心の高さを感じました。

伊藤和憲先生の「鍼灸師として知っておきたい痛みの知識」の講演は流派に関わらず、治療の参考になるとてもためになる講演でした。また、「筋肉の痛みとトリガーポイント」は圧痛点治療とは異なるトリガーポイント治療を知ることができました。実際の治療に於いてはセイリン一番針で皮下に 3mm 程度で響かせず、針数が少ないのが印象的でした。伊藤先生の臨床ではトリガーポイントだけでなく、東洋医学的な治療や腧鍼（ていしん）も使うとのこと。講演終了後も質問が続き学生の熱意に感心しました。

鍼灸情報研究会・広島 2011

日時：平成 23 年 11 月 13 日（日）10:00 ～ 13:40

会場：広島市中央公民館大集会室 3

〒730-0005 広島市中区西白島町 2 4 番 3 6 号

電話：(082) 221-5943

会費：(社)広島県鍼灸師会会員無料 学生無料 一般無料（記名必要）

プログラム

10:00 会長挨拶

10:10 講演「鍼灸師として知っておきたい痛みの知識」

明治国際医療大学 伊藤和憲准教授

11:40 休憩

12:00 実技講演「筋肉の痛みとトリガーポイント」

明治国際医療大学 伊藤和憲准教授

13:30 閉会式

伊藤和憲先生プロフィール

明治国際医療大学鍼灸学部准教授。1972年生まれ。

2002年明治鍼灸大学大学院博士課程修了後、明治鍼灸大学鍼灸学部助手・助教・講師、大阪大学医学部生体機能補完医学講座特任助手、University of Toronto、Research Fellowを経て現職。専門領域は筋

骨格系の痛みに対する鍼灸治療で、特に筋肉の痛み(線維筋痛症・筋筋膜疼痛症候群)を専門にしている。

著書

「はじめてのトリガーポイント鍼治療」医道の日本社 (2010/01)

「ビジュアルでわかるトリガーポイント治療」緑書房 (2010/7/6)

「図解入門 よくわかる痛み・鎮痛の基本としくみ 秀和システム」 (2011/04)